

「20年間続けてこられたのは、
メンバーに恵まれてきたからかな」



智積自然の会
会長 伊藤隆夫さん

水がきれいな自然環境を町の財産として残したい——智積町自治会の有志で立ち上げ、「初瀬ビオトープの谷」（智積町4688）を整備してきた「智積自然の会」。その会長を務める伊藤さんにお話を伺いました。

有料広告掲載欄

「こんなとき、どうすれば…？」お早めにお電話でご予約ください！ ☎ 059-350-2080

近鉄四日市駅から
徒歩1分！
南改札口(東口)すぐ！

交通事故

「事故にあい、治療中ですがこれからどうすれば…？」
「後遺症の認定が非該当でした」

離婚

「親権や慰謝料・養育費のことで話がまとまりません」

相続・遺言

「遺産のことで兄弟でもめています…」
「遺留分とは何ですか？」

企業法務など

企業様には今後の安心のため
顧問契約(月額1万円～)を！

不動産・建築

契約書のことや
建物の欠陥のことなど

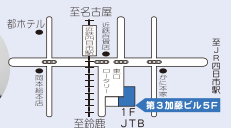
◆交通事故(被害者)のご相談は無料◆

その他の法律相談(初回)は30分5,400円(税込)ですが
初回相談でご納得頂けなかった場合には無料とさせていただきます。

「まずは一度ご相談を！」

尾市法律事務所

弁護士 尾市 淳二 (三重弁護士会所属)
(財)日弁連交通事故相談センター三重県支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士
詳しくは「尾市法律」検索



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■荒地をメダカの池に

いっしょにおきやま
一先吹山のふもとの水田だったところが、竹林に侵食されて荒地になっていたんです。その荒地をなんとかしなくてはという話になったのが、ビオトープを整備したきっかけです。

勢和村（現在の多気郡多気町）へ見学に行き、「あそこええな」ということで、参考にして整備することにしました。地主の了解を得て、30人近くの地元住民で開拓。休日は毎日のように作業に出て池を造成し、平成11年に「初瀬ビオトープの谷“メダカの学校”」が完成しました。そして平成17年、市内で2番目の市民緑地になりました。



▲メダカの学校開校式（平成11年6月26日）

■仲間と共に早20年

現在は、月に1回、原則第2日曜日午前中に草刈りなどの作業をしています。普段でも大体10~20人ぐらいは集まりますよ。草刈り機の燃料だけ用意しておき、みんなが道具を持ち寄って作業します。



昔に比べるとメンバーの平均年齢も高くなり、体力的に辛くなってきました。それでも、これまで20年間続けてこられたのは、「あれをやるぞ、これをやるぞ」と言え

ばすぐに動いてくれるメンバーに恵まれてきたからかなと思います。もっと若い人も増えていくといいですね。



■子どもの喜ぶ顔がうれしい

2年に1回程度、イベントも開催しています。ザリガニ釣りをするときはザリガニを取りに行ったり、泥んこ綱引きをするときは田んぼをおこしたり、準備は大変です。でも、子どもの喜ぶ顔を見ると張り合いがあります。ザリガニ釣りはお父さんたちも喜んでいましたし、泥んこ綱引きは優勝賞品の米俵一俵を狙って盛り上がりました。こうした仕掛けを通して、大勢の人が「初瀬ビオトープの谷」を見に来てくれると嬉しいです。



▲泥んこ綱引き

■皆さんへのメッセージ

「初瀬ビオトープの谷」には豊かな自然がある一方、マムシが出たりするなど危険もあります。見に来ていただくときは、十分気を付けてください。また、直近ですが9月7日(土) 10:00~13:00ごろに20周年記念イベントを開催する予定なので、ぜひ遊びに来てください。



9月放送のCTY「ちゃんねるよっかいち」やCTY-FM「よっかいちわいわい人探訪」でも紹介します。（放送時間は裏表紙へ）

有料広告掲載欄

ええやん♡里親

~子どもを
家庭で育てよう~
里親って何だろう？

児童養護施設・乳児院では、職員(児童指導員・保育士・看護師・心理士)を募集中です。
お問い合わせは、エスペランス四日市
本弘(モトヒロ)まで TEL:059-346-1371

里親制度説明会

▼日時: 9月13日(金) 18:45~20:30
(受付開始18:30)

▼場所: 楠交流会館 2F 大集会室
(四日市市楠町北五味塚1211-1)

▼主催・問い合わせ/
社会福祉法人アパティア福祉会
児童家庭支援センターまお
(エスペランス四日市内)

080-6983-6863
(まお直通:9時~16時)
059-346-1371
(エスペランス四日市)

参加無料

事前
申し込み不要

里親を「知る」
子どもたちのために
里親を「応援する」
里親に「なる」

mao@apatheia.jp

里親制度 まお 検索

Supported by
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 助成: 日本財団

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。